

2024 年度事業報告

2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで

2021 年度より設立 120 周年の準備を重ね、設立 120 周年を迎える 2024 年度は、目標を「設立 120 周年を迎え、桜楓会の更なる着実な発展を」とし、記念事業を含む様々な事業を推進した。募金事業からの支援を受けて、以下（1～9）に詳細に記す記念事業を確実に実施した。この記念事業の遂行によって、一つの目標としていた「現在の桜楓会」の認知度を高めることができたと考える。また、10 年後を見据えた中長期計画の第 1 期 3 カ年計画の最終年度として、計画に沿った事業を実施、さらに重点課題にも記載の通り取り組んだ。

今年度から、代理徴収によって卒業直後の若い会員を迎えたことも含め、全世代の会員から桜楓会に要請される点に留意しつつ、ホームカミングデーの実施や広報事業を進めた。事業運営においては、桜楓会の持続的な基盤の構築を課題として、各事業の点検を行なった。重点課題について、まず「経営の健全化」では、「経営健全化委員会」を設置し、実態の把握を行い、財政計画の策定に着手した。「組織体制の見直し」では、一例を挙げると、理事会運営や理事構成についても問題点を明らかにし、より円滑な運営を目指して検討を重ねている。以上の様々な検討を通して、中長期計画の 1 期目の評価を実施し、それを踏まえて 2 期目の立案を開始した。

【重点課題】

120 周年記念事業の実施（プレ事業を含む）

桜楓会設立 120 周年を迎え、次の 9 項目を実施した。

1 広岡浅子賞

2024 年 11 月 16 日 第一回広岡浅子賞贈賞式を実施（設立 120 周年記念式典において）。

受賞者：広岡浅子賞（経済分野での活躍等）5 名 広岡浅子賞（社会貢献）4 名と 1 団体

経 過：【応募受付期間】2024 年 4 月 1 日～7 月末日

【発表および贈賞式】発 表：2024 年 9 月末日、

贈賞式：2024 年 11 月 16 日（土）記念式典当日

【選考方法】「広岡浅子賞」選考委員会を経て決定

* 2025 年度以降継続事業

2 「活躍する卒業生リスト」事業

① 2023 年 6 月 リスト作成委員会結成（卒業生 5 名、理事 4 名）

② 悩むことが多い卒業 10 年目、進路に悩む在校生に向けて、30～40 代の「先輩の話を聞く会」をオンライン、対面のハイブリッドで 5 回開催。対面の参加者とは、講演後に交流会を行う。

開催日：2024 年 5/18、7/6、9/28、12/8、2025 年 2/8

- ③ 「リスト作成」についてはまだ「道筋をつけた」ととどまっている。卒業生のリアルな情報を HP（桜楓のネットワーク）で発信していけるよう準備をした。

* 2025 年度継続事業

3 総合相談事業

ブレ企画として 2023 年 10 月から 2024 年 3 月まで、対面とメールで実施した。

4 記念広報事業

- ① 『「桜楓新報」に見る桜楓会の 20 年（2004～2023）』を作成し、理事長名入りの挨拶文と共に、120 周年記念式典の出席者、全正会員、寄付者（2024 年 10 月迄）へ発送した。また、学園関係者等に手渡した。

- ② 動画「5 分でわかる桜楓会」を 4 本作成し、ホームページで公開中。

1) 「桜楓会のあゆみ」 2) 「広岡浅子賞について」

3) 「桜楓会中長期計画について」 4) 「桜楓樹の実り」

作成した動画を「全国支部長・代表回生幹事会」やホームカミングデー、目白祭などで放映。

- ③ HP の充実

当初は 2015 年にリニューアルした前 HP に 120 周年記念事業のコンテンツを加え、使い勝手の向上を目指したが、2023 年度末新しい HP に作り替える事が理事会で決定。

担当は「ICT 化の推進チーム」に移行し、制作者（山田アドバイザーと担当職員）の手に委ねられる事となったが、「HP の充実チーム」では新しい HP の内容・デザインについて検証し、修正・加筆を検討し制作者にフィードバックした。

5 記念式典

2024 年 11 月 16 日（土）、成瀬記念講堂に於いて桜楓会設立 120 周年記念式典を開催。

当日の記念品として、出席者に記念誌「「桜楓新報」に見る桜楓会の 20 年（2004～2023）」を贈った。同時に、特記すべきこととして、第一回広岡浅子賞贈賞式を式典内で挙行了た。

6 桜楓会に関する展示（於 成瀬記念館）

桜楓会・成瀬記念館共催「桜楓会設立 120 周年記念展 桜楓樹の実り」2024.9.20(金)～12.20(金)開催。展示の様子をビデオ撮影し（記念館学芸員の説明付き）、HP で視聴可能とした。

7 桜楓会における ICT 化の推進

- ① 講演会、各種講座の高画質録画、ネット配信を実施

- ② 機器の購入 ・ 4 k 対応の業務用高画質ビデオカメラ 2 台

・種々の入力に対応したオーディオ・ビジュアルミキサー

- ③ 2024 年 2 月 26 日 桜楓会公式 LINE を開設
- ④ 2024 年 8 月 28 日 桜楓会ホームページリニューアル
- ⑤ 会員管理システム導入についての検討
- ⑥ 事務部門の効率化と情報管理の充実の検討

* 2025 年度継続事業

8 桜楓会設立 120 周年記念募金事業

- ① 募金推進委員会設置と委員会開催
 - ② 寄付協力依頼パンフレット作成（改訂版も）、封筒作成
 - ③ 寄付協力依頼パンフレット郵送（2 回、送付先：旧回生～新 72、通 70、大学院 60 回生会員）
 - ④ 募金協力者へのお礼と公表（桜楓新報 10 月号、2・3 ページ）
 - ⑤ 記念品作成：リアライト〈循環型環境製品再生アクリル〉使用の万年カレンダー
 - ⑥ 2024 年 11 月 16 日（土）13：00～14：30 記念式典にて、記念募金及び募金による 120 周年記念事業の進捗状況の報告
 - ⑦ 11 月 16 日（土）15：00～16：30 記念募金高額寄付者パーティー開催
 - ⑧ 2025 年度事業
 - ・桜楓新報にて、2024 年 9 月 1 日以降の記念募金事業について報告、記念募金協力者（2024 年 9 月 1 日以降）へのお礼、ご芳名掲載
 - ・高額寄付者への記念品送付
- * 常時、寄付の問い合わせへの対応及び寄付金管理

9 その他

- ① 2024 年 11 月に 4 階ホールの舞台幕の取り替えを実施した。
- ② 路川さち子氏により、「桜楓新報」に「『家庭週報』の初期の歴史を紐解く」として 10 回の連載を行った。
- ③ 渡部麻実氏により、『家庭週報』明治期総目次データベースの作成とインターネット公開を行った。日本女子大学学術リポジトリでデータベースを使用することができる。
なお、紙面画像も「成瀬記念館デジタルアーカイブ」より公開。

経営の健全化

2006 年公益法人改革により、2012 年度に桜楓会は社団法人から一般社団法人へと法人格の変更を行い移行法人となった。それから 40 年間、毎年 3,300 万円の公益目的支出を行うことになり、その支出は収益を上げることで賄う予定であったが思うように実施できず、加えて会員の減少、2020 年以降の新型コロナウイルスの影響等により、経常収支の赤字が続いている。この赤字体質を解消すべく、2024 年度には、経営健全化委員会を 2 回開催し、会員の増加（大学による代理

徴収を含む)、支出の見直し(事業や人事体制など)を模索してきたが、2024 年度には財政計画(2025 年度～2034 年度)の立案に取り組んだ。

組織体制の見直し

2023 年度に引き続き、理事会運営のあり方、議事録の記載、桜楓会の組織図・構成図について検討した。理事会運営のあり方については、できるだけ幅広い回生や支部からの役員候補者の推薦による理事構成、そのための理事会日程の検討、業務執行理事のあり方、理事会の議長、理事会開催時間の短縮、当番理事会等について検討を加え、理事会運営規則も作成中である。組織図については、桜楓会が行っている活動や事業をわかりやすく示す部門・部の構成について検討を行った。

中長期計画の 1 期目の評価と 2 期目の立案

1 桜楓会中長期計画(2022 年度～2031 年度)における第 1 期 3 カ年計画の 3 年目として引き続き 11 項目に取り組み、第 1 期 3 カ年計画を終了するにあたり理事会として 4 段階評価(実施できた、一部実施できた、あまり実施できなかった、実施できなかった)を行った*。その結果、120 周年記念事業への評価が高かった。また、評価がしにくいという意見があり、第 2 期 3 カ年計画を立案するにあたっては、数値目標も立てることとなった。

* 第 1 期 3 カ年計画(2022 年度から 2024 年度における重点方針)

- ① 桜楓会の理念と未来の姿に沿った事業の見直しと、その実施にふさわしい組織を構築する。
- ② 「生涯学習」「社会貢献」「ジェンダー平等」「桜楓会はプラットフォーム」の 4 本柱に沿い、優先順位を決めて事業を充実させる。
- ③ 設立 120 周年に向けて、理事会を中心に記念事業を企画し、実施する。
- ④ 設立 120 周年記念事業の財源を確保する。
- ⑤ 設立 120 周年にむけて、ステークホルダーへの働きかけをすすめる。
- ⑥ 会員の増加、会費納入の拡大をはかる。
- ⑦ 代理徴収をきっかけに桜楓会と日本女子大学との相互理解をより深め、より良好な関係を作り上げる。
- ⑧ 代理徴収に向け、在学生への広報や桜楓会について関心を高める取組みをすすめる。
- ⑨ 若い回生幹事および代表回生幹事への働きかけをすすめる。
- ⑩ 支部への積極的な働きかけをすすめる。
- ⑪ 年間 1,000 万円の経常収支改善を目標とする。

2 第 2 期 3 カ年計画(案)策定の準備を、チームを設置して進めた。

管理部門

法人行事を始め、財務や会員情報の管理、職員の労務管理など、組織運営の基盤となる定型業務を着実に執行するとともに、定額減税の実務など新規業務にも柔軟に対応した。代理徴収によって新卒正会員が多数入会した最初の年であったが、その事務処理も順次適正に進めることができた。また、節目回生への働きかけなど正会員の増加にも努めた。桜楓会設立 120 周年記念事業では運営における柱となって、事業実施の補佐・募金の管理・式典の運営を行った。これに付随して、例年よりも多くの会員と交流する機会を得たことは、次年度業務への大きなステップとなった。

公益事業部門

初の試みとして支部の多大な協力で行われた、マウント・ホリヨーク・カレッジのインターンシップ実習生との交流は、大学からの今後への期待を得ると共に、支部の力を再認識する機会となった。また学生向けの健康講座には熱心な参加者が集まり、開催の重要性を強く感じた。大学支援事業の各企画は細かな見直しを行い、代理徴収世代が同窓会の存在を認識し、共に活動するための第一歩となった。

桜楓会特別講座、成瀬仁蔵研究会特別講話（4 回）の全てを対面と動画配信で行い、来館が難しかった方々の視聴を可能としたことで、受講者数の増加に繋げることができた。

共益事業部門

ホームカミングデーは創立記念式典を含み 630 人以上が来場した。隈研吾氏、高野晴代氏による講演会は高い関心を集め、百二十年館での回生会・クラス会・グループ会を呼びかけたところ、多くの利用があった。機関紙「桜楓新報」は今年度から桜楓会ホームページでも閲覧可能とし、新卒会員へのメッセージとして、各世代の卒業生による「私の卒業 1 年目」シリーズを企画し実行した。ホームページは 120 周年記念事業の一環としてリニューアルし、必要な情報にアクセスしやすくなった。また、新たな情報発信手段として桜楓会公式 LINE を開設し、桜楓会活動の最新情報の定期的な配信を始めた。

収益事業部門

施設サービス部の貸室業務は飲食を伴う会合申込が好評で、桜楓会員の生涯学習、交流の場として役割を果たした。桜楓食堂、桜楓ハウスの管理について大学と協議し今後の方針を検討した。

実業部（目白）ではキャッシュレス化が進み、商品データ登録により業務が効率的になった。附属小中高の新入生指定品オンライン販売ではデータ整備の委託、発送業者との連携で省力化できた。店頭で桜楓会の行事を掲示するなど大学への告知にも努めた。マイボトルの新規サイズを企画し堅調に販売した。中高実業部は、特別委員会であり方を検討しながら、目白と連携し業務を行った。

【管理部門】

1. 総務部

(1) 会務

① 法人行事・会議の企画・実施

a. 第 121 回(一社)日本女子大学教育文化振興桜楓会定時総会

2024 年 6 月 15 日(土)13:30~14:50 (於 桜楓 2 号館)

議決権のある総代議員 288 人

出席した代議員 236 人(うち 委任状出席 57 人 書面による議決権行使出席 119 人)

承認事項 2023 年度決算報告承認の件 監査報告

役員(理事及び監事)選任承認の件

報告事項 2023 年度事業報告

2023 年度公益目的支出計画実施報告及び監査報告

2024 年度事業計画 2024 年度収支予算

b. 全国支部長・代表回生幹事会 (於 桜楓 2 号館)

2024 年 6 月 16 日(日)10:30~15:30 出席 120 人

内容「桜楓会設立 120 周年記念事業」「個人情報」「支部・回生会規程」「代議員補欠選挙」
「代理徴収結果報告」等

c. 成瀬先生ご命日・逝去会員追悼会 (於 桜楓 2 号館)

2025 年 3 月 4 日(火)13:30~15:00 出席 70 人(遺族、会員、大学関係者、役員、職員)

講師 日本女子大学名誉教授 白井 洋子氏

講話 「女子を人として教育する事」ー成瀬仁蔵とジェンダーの知ー

* ご遺族との茶話会 15:15~16:15 18 人(遺族、名誉会長、理事長、常任理事)

d. 理事会 19 回開催(定例 11 臨時 8)

持ち回り審議 3 回

e. 日本女子大学法人企画部との定例打合せ 12 回開催

f. 1・4 年次アドバイザーの先生方との会 (Zoom、一部 Breakout Room 利用)

2024 年 10 月 10 日(木)13:30~15:00 出席 65 人(1・4 年次アドバイザー、役員、職員)

内容「桜楓会の活動について」「桜楓会正会員会費の代理徴収について」「桜楓会設立 120 周年記念事業」「回生幹事(4 年生)の選出について」に関する説明と意見交換

g. 三女子大学同窓会との懇談会 (於 津田塾大学同窓会会議室)

2024 年 11 月 26 日(火)13:00~15:30 出席 14 人(津田塾大学、東京女子大学、日本女子大学各同窓会 役員、事務局)

内容 「支部活動・支部長会」「会員情報の管理」「代議員制度」「会報誌」「資産運用の現状とルール」他についての意見交換

h. その他会合

- ・代議員選挙管理委員会（於 桜楓 2 号館）

2024 年 8 月 8 日（木）10：30～11：00 出席 5 人（委員会委員、職員）

- ・2024 年 3 月卒業（新 74 回）回生幹事との会（於 桜楓 2 号館）

2024 年 6 月 15 日（土）12：30～13：15 出席 9 人（回生幹事、名誉会長、理事長、職員）

内容「桜楓会とは」「新生活について」意見交換

- ・合同委員会（於 桜楓 2 号館）

2024 年 9 月 6 日（金）13：30～14：30 出席 29 人（各委員会委員、役員、職員）

- ・新 74・75 回生幹事との会 「先輩と話そう！」－聞いてみたかったあのことも…－
（Zoom、一部 Breakout Room 利用）

2025 年 3 月 15 日（土）10：30～12：00 出席 18 名（回生幹事、理事長、常任理事、会員部担当理事、職員）

内容「私の学生時代」「卒業後の日常」「聞かせてください！」（回生幹事のみ）
意見交換

i 学）日本女子大学との窓口業務

- ・jasmine-navi 配信及び各種データ抽出依頼
- ・附属校園対応

j. 大学発行冊子等での広報

- ・「入学の手引」、「大学案内」、「学園ニュース」4 回、
「キャリア支援プログラム」原稿作成

②理事会運営の検討

③組織体制の検討

④その他

a. エシカルプロジェクト PLUS ～同窓会からのおすそ分け～

2024 年 5 月 22 日（水）8：00～9：00 （於 大学百年館高層棟ロビー）

内容「朝食を食べよう！」米の消費に協力し、同時に日本女子大学生の朝食を支援
おむすび 200 個（1～2 個／人）、レトルトカレー（40 人分）、生理用品配付
アンケート調査

(2) 庶務

①構内・施設等の整備及び保全管理

a. 一般庶務業務

b. 管財業務

c. 営繕業務 施設の修理・保全

②職員の労務管理

a. 労働協定書の整備 職員名簿の作成 出退勤の管理 給料計算 緊急連絡網の整備

b. 健康管理 健康診断受診対応

c.福利厚生 社会保険

2024 年度職員の状況 職員 12 人 パートタイマー 12 人(うち特例高齢者 3 人)
(2025 年 3 月 31 日現在)

- ③桜楓会諸規程・内規の整備
- ④安全衛生・防災計画の立案・実施
- ⑤システム管理・ネットワーク管理

アクティブディレクトリによる一元管理および事務用 PC 入れ替えの検討

2.会員部

(1)正会員・準会員・賛助会員の会員増加への取り組み

(2)会員・在学生情報の収集と管理

①会員数 94,295 人(うち正会員数 9,671 名)

準会員数 171 人 賛助会員数 28 件(21 人、7 企業) (2025 年 3 月 31 日現在)

②各部の依頼による個人情報データの抽出

③大学関係機関とのデータ交換、提供

a.大学学部及び附属機関(成瀬記念館等)

b.各学科縦の会

④データ照会受付・対応

a.大学関係機関からの照会への対応

b.他団体・個人からの照会への対応

(3)支部・回生への支援強化と情報発信

①支部数 143(含海外 4)

②支部・回生活動支援奨励金の応募受付・手配

2024 年度給付 5 件 浦和支部、鎌倉支部、江東支部、札幌支部、中央支部

③支部通信・連絡費交付口座届書の確認書の送付

④支部通信・連絡費の交付

⑤支部・回生からの要請に応じての名簿抽出 126 件・宛名ラベル作成 39 件

⑥新回生幹事への説明会

2024 年 12 月 5 日(木)13:00~14:00

出席 24 名(回生幹事 18 名、理事長、常任理事、管理部門担当理事 2 名、職員 2 名)

⑦新卒者への祝品贈呈

(4)クラス会・周年行事等のサポート

①新 24 回生・通信 22 回生 50 周年の集いのサポート(個人登録情報の書き換え)

②クラス会のサポート(名簿抽出作業)

(5)慶弔及び災害時への対応

祝電 7 通 弔電 9 通 お悔み状 185 通

3.財務部

(1)財務

- ①予算案のとりまとめ
- ②資産管理

(2)会計

- ①月次会計管理
- ②資金管理
- ③決算業務
- ④会費納入依頼

- a. 節目回生(新 14, 24, 34, 44, 54, 64 回生他)への会費納入願い 4,492 通
- b. 5 年節目を迎える回生(新 19, 29, 39, 49 回生他)への会費納入願い 3,181 通
- c. 卒業 6 年目を迎える回生(新 68 回生)への会費納入願い 893 通
- d. 65 歳を迎える回生(新 32 回生)への会費納入願い 832 通
- e. 60 歳を迎える回生(新 37 回生)への会費納入願い 855 通
- f. 1 年次学生への準会員会費納入促進(新 78 回生)1,555 通
- g. 新卒予定者への会費納入願い(通信 73 回生・大院 63 回生)219 通

⑤安定した財政基盤の確立への取り組み

- a. 活動支援寄付・遺贈の受付
- b. 古本募金制度「きしゃぼん」によるご寄付

【公益事業部門】

1.大学支援事業部

(1)日本女子大学への助成事業

- ①「日本女子大学桜楓奨学金」(給付型)を日本女子大学に提供
- ② 国立博物館、国立美術館(東京地区)キャンパスメンバーズ会費支援

(2)大学支援

①大学教育支援

- a. 桜楓会新入生奨学金(給付型)対面による面接で選考

大学院生 2 人 学部生 4 人

* 2021～2024 年度受賞者を対象として以下を実施

- ・ 2024 年 10 月 24 日(木)授与式

賞状授与、桜楓会理事長による桜楓会説明

- ・ 成瀬仁蔵研究会特別講話聴講(4 回)を 1 年間通じて 1 回以上聴講
- ・ 「桜楓新報」(2024 年 4 月～2025 年 3 月)を読みレポートを提出
- ・ 社会貢献活動支援事業給付団体の勉強会参加、マナー講座モデルの協力

* 2024 年度受賞者を対象として以下を実施

・DVD「目白の雪の日」を視聴しレポートを提出

b. 施設負担金

②学生への就職活動支援

a. 就職懇談会

第28回「在学生と卒業生との就職懇談会」（共催 日本女子大学キャリア支援課）

2024年10月26日（土）13:30～16:15 （於 桜楓2号館3・4F）

全体会と分科会を実施 参加者 57人

b. マナー講座

「就職のためのマナー講座」

2024年12月12日（木）13:30～16:30（於 桜楓2号館305・306号室）

講師：池田康代氏（新32被）・山口淳子氏

内容：座学 実技指導 模擬面接

参加者 13人

c. メイク講座

「就職のためのメイク講座」（資生堂ジャパン（株））

2024年7月11日（木）14:00～15:30 （於 桜楓2号館305・306号室）

対面講習 参加者 28人

d. 学生向け健康講座

2024年6月27日（木）13:30～16:30（於 桜楓2号館305・306号室）

「自律神経とホルモンバランスに向き合って—今日からできる正しいスキンケア—」

講師：竹内由江氏（新42国）

内容：自律神経の役割と影響、ホルモンバランスと自律神経の関係、リンパについて、正しいスキンケア他

参加者 13人

③留学生支援

a. 「外国人留学生学業奨励賞・援助金授与式及び懇談会」

2024年11月14日（木）15:15～16:45 （於 桜楓2号館4階ホール）

授与式・懇談会出席者：計 81人

留学生へのプレゼント

b. 茶道（桜楓学園講座）体験

2024年11月19日（火）～11月25日（月）

3回開催 参加者 9人

c. マウント・ホリヨーク・カレッジ（米国協定校）インターンシップ実習生支援

日時：2024年7月17日（水）～19日（金）

担当：京都支部

内容：日本文化体験、観光、ホームステイ、支部会員との交流

④ 学術支援

a. 日本子ども社会学会第30回大会 公開シンポジウム

2024年6月29日(土) 9:00～12:20 (於 新泉山館)

子どもの『居場所』は誰が決める？—子ども真ん中社会における教育の「義務」と「権利」—
シンポジスト 西野博之氏、工藤啓氏

指定討論者 林浩康氏

業務内容 事務局業務(参加希望者受付、名簿作成、資料配付)

b. 第6回 JWU 幼児教育・保育セミナー

2024年11月9日(土) 14:00～16:00 (於 桜楓2号館 4F ホール)

子どものウェルビーイングと遊び場づくり 「ムーブメント教育」が生み出す笑顔の好循環

業務内容 事務局業務(参加希望者受付、名簿作成、資料配付)

2. 文化事業部

(1) 講師派遣事業

支部主催公開講演会講師としての登録お願い(大学専任教員宛 235件)

講師・テーマ一覧作成 掲載講師 50人

- ・神戸支部 2024年6月29日(土) 講師 佐藤和哉氏

「イギリスの児童文学の名作について～『アリス』『プーさん』や『ナルニア国物語』など」

- ・金沢支部 2024年7月7日(日) 講師 澤田美砂子氏

「座ってピラティス」

- ・墨田支部 2024年9月28日(土) 講師 宮崎あかね氏

「水から見る地球環境問題」

- ・藤沢支部 2024年10月19日(土) 講師 尾崎啓子氏

「フィンランドの子育て支援と特別教育」

- ・名古屋支部 2024年11月10日(日) 講師 澁谷正俊氏

「薬や毒が効くしくみ」

- ・熊本支部 2024年11月17日(日) 講師 荻野亮吾氏

「人生100年時代の学び方」

- ・福井支部 2024年11月23日(土) 講師 細井昭憲氏

「エアコンを用いた賢い暖冷房」

(2) 桜楓会特別講座

2024年7月20日(土) 13:30～15:00 (於 桜楓2号館 4F ホール)

講師 大石静氏(脚本家)

高野晴代氏(一般社団法人 日本女子大学教育文化振興桜楓会理事長、日本女子大学名誉教授)

対談 大石静&高野晴代 ドラマを支えるもの —「光る君へ」の世界—

参加者 692人(対面228人(抽選)、オンライン257人、ハイブリッド207人)

(3)日本女子大学生涯学習センター連携講座

11月9日(土)13:30~15:00 (Zoom によるオンライン講座)

講師 清水睦美 氏 (日本女子大学人間社会学部教育学科教授)

日本の学校教育を問い直し、インクルーシブな未来を構想する
ー「能力実体論」から「能力関係論」への転換の視覚からー

参加者 32 人

(4)成瀬仁蔵研究

年間テーマ 「成瀬仁蔵の精神を受け継ぎ伝える 2024

ー桜楓会設立120周年から より自由な未来へー」

①特別講話 (全4回参加者総計:対面145名、配信202名※但し両方参加者38名)

- ・4月27日(土) 広岡浅子と桜楓会 ー浅子の歌を通してー 講師 高野晴代氏
- ・6月22日(土) 成瀬先生と食 講師 飯田文子氏
- ・9月28日(土) タゴールと成瀬仁蔵 ー宗教の彼方へー 講師 片桐芳雄氏
- ・12月7日(土) 成瀬仁蔵とリベラルアーツ 講師 今市涼子氏

②成瀬仁蔵研究会研修室の利用 (2名)

③「活動の記録(18) 2018年度~2021年度」の販売

④「活動の記録(19) 2022年度~2024年度」の発行 (2025年3月31日)

(5)桜楓学園の運営

・教養講座【ピアノ(月・火・水) ヴァイオリン(月・火) 茶道表千家 茶道裏千家(火・水) 通信書道・通信ペン字】

・子ども講座【ピアノ(月・火・水) ヴァイオリン(月・火) 書道(火・水) 囲碁 そろばん バレエ】

・免状取得 茶道表千家0人 茶道裏千家8人

・3月末日現在 在籍者数 139人

・短期小学生向け講座「Hip Hop 講座」

2024年8月26日(月)・29日(木) いずれも10:30~11:30 参加者延べ19人

2025年3月27日(木)・28日(金) いずれも10:30~11:30 参加者延べ28人

(6)資料

①桜楓会関連史・資料の整理・修復保存及びデジタル化

②寄贈図書の受入

寄贈図書 19冊 刊行物104部(学内22 学外79 単発受入3)

③レファレンスサービス

参考質問39件 閲覧3件 貸出6件 資料提供9件

④「桜楓新報 合本第14巻」5部作成(759号~807号所収)

※桜楓会保管(保存用・閲覧用)のほか、日本女子大学学園企画室、大学図書館、成瀬記念館に贈呈。

3.福祉厚生部

(1)社会貢献活動の支援

社会貢献活動を行っている個人・グループへの支援金給付
申請数 4 件 給付承認数 3 件 書類による審査

4.人材銀行

(1)就職情報の受入れ及び提供

登録者 47 人 求人 29 件
就職成立者 5 人(正職員 3 アルバイト 2)
問合せ件数 延 380 件

【共益事業部門】

1.会員サービス部

(1)ホームカミングデー

日時 2024 年 4 月 20 日 (土) 10:00～15:30

会場 目白キャンパス

参加人数 636 人

招待年次 卒業 55 年 (1969 年)、卒業 45 年 (1979 年)、卒業 35 年 (1989 年)、卒業 25 年 (1999 年)、卒業 15 年 (2009 年)、卒業 5 年 (2019 年)

プログラム 〔成瀬記念講堂〕

オープニング挨拶

創立記念式 日本女子大学学業成績優秀賞、研究奨励賞授与

講演 講演者：隈研吾氏

〔百二十年館 ピロティ〕

キャンパスツアー

〔百二十年館教室〕

講演会 講演者：高野晴代氏

回生会・クラス会・グループ会 人生 100 年時代の学び直し説明会

キャリア相談会 JWU 留学ラウンジ

〔百二十年館〕 ラーニング・コモンズかえで

コーヒー・紅茶無料サービス 令和 6 年能登半島地震被災地域支援企画

在学生との交流 動画「5 分でわかる桜楓会」上映 卒業生リレートーク

実業部販売 お弁当販売 フィナーレ

(2)学園祭参加

日時 2024 年 10 月 19 日 (土) 10:00～17:00

会場 目白キャンパス 百年館低層棟 201・202 教室

企画 桜楓会関連展示 動画「5分でわかる桜楓会」上映 お休み処(コーヒー・紅茶無料サービス)
被災地(東北・北陸)支援バザー キャンパスグッズ販売

(3)桜楓会奨学金

①授与式 2024年6月15日(土)

選考委員長(川崎直樹氏)による経過報告

奨学金授与(2026年度に成果報告予定)

路川さち子氏(新37国)

「竹山ひさ日記(1905年11月)を読み解く～創立当初の、日本女子大実態と気韻を
探る～」

石井美香氏(新44理Ⅰ化)

「ポリアミド繊維の吸着水の挙動と微細構造の環形について」

松山奈穂氏(新71居住 大院61住)

「近世後期における社寺建築彫刻の形態学的分析」一嶋村俊表を対象として

②成果報告 無し

③2025年度選考委員会 2025年2月26日(水)

2025年度桜楓会奨学金受賞者決定

松尾優子氏(新46物生)

「脳内で概日リズムを制御する光センサーニューロン群の研究」

中島敬子氏(新51食 大院41食)

「家庭科の教員からみた児童・生徒のジェンダーへの意識－現職の教員へのインタビュー
調査からの検証－」

河村優花氏(新73教育)

「在日移民二世女性をめぐる階層化の諸相」

(4)結婚相談及び桜楓パーティー開催・内容と方法の検討

①相談業務

資料請求者 62人(男性16 女性46)

年間登録者 139人(男性55 女性84)

来室相談者 86人(男性37 女性49)

紹介 82組 成立 0組

②桜楓パーティー開催

2024年7月28日(日) 14:00～16:15 参加者30人(男性15 女性15)

2025年2月16日(日) 10:30～12:45 参加者23人(男性11 女性12)

14:00～16:15 参加者20人(男性10 女性10)

③結婚相談閉室(2025年12月)に向けての取り組み

2025年1月 新規登録受付中止 登録者へ告知文書送付 紹介者への告知文書送付
創桜楓会会員への告知 HP

2025 年 3 月 桜楓会会員への告知 「桜楓新報」3 月号

(5) 桜楓会バザー 学園祭で被災地（東北・北陸）支援バザーを開催

(6) 講座・講演会

日時 2025 年 3 月 12 日（水）13:30～14:30

会場 桜楓 2 号館 303・304 号室

講師 株式会社明治 井口芽実氏（新 69 食管）

講座名 大人のための健康応援セミナー 春に向けて食習慣を見直しませんか？

「未来のための栄養改革－元気なカラダへの食事投資－」

参加人数 24 人

(7) ゴールデンパーティー対象者への挨拶状とプレゼントの送付

猛暑と新型コロナウイルス感染流行の兆しがあったため中止

対象者 373 人に理事長挨拶状、葉書セット（ボタニカル絵葉書、大もみの木葉書、女子大ボールペン）送付

(8) 卒業生が自由に使える場所の提供：1 号館ロビーの活用* 4 部門共同作業として次年度に継続

2.出版部

(1)「桜楓新報」の発行

①発行 年 10 回（817 号～826 号）

原稿依頼 78 件 総発行部数 110,493

②発送 総発送数 97,289 うち、第三種郵便での送付数 月平均 9,728

準会員宛発送 年 3 回 484

③特別編集

- ・成瀬先生ご命日・逝去会員追悼会 山根知子氏講話（817 号）
- ・わたしの卒業 1 年目（817～824 号）
- ・第 43 回ホームカミングデー（818 号）
- ・桜楓会設立 120 周年記念事業「家庭週報の歴史を紐解く」（818 号迄）
- ・「先輩の話を聴く会」開催報告（819～826 号）
- ・外国人インターンシップ実習生の京都旅行受け入れ－母校と桜楓会支部との新たな展開（821 号）
- ・桜楓会 120 周年記念事業のご報告（822 号）
- ・2024 年度 桜楓会特別講座 対談 大石静&高野晴代
「ドラマを支えるもの－『光る君へ』の世界－」（822 号）
- ・桜楓会 120 周年記念事業 桜楓会・成瀬記念館共催
「桜楓会設立 120 周年記念展－桜楓樹の実り」展示ご紹介（823 号）
- ・生涯学習センター連携講座 清水睦美氏オンライン講演会
日本の学校教育を問い直し、インクルーシブな未来を構想する－「能力実体論」から

「能力関係論」への転換の視覚から（824号）

- ・桜楓会設立 120 周年記念広報事業

記念誌『「桜楓新報」に見る桜楓会の 20 年（2004～2023）』のご紹介（824号）

- ・桜楓会設立 120 周年記念式典開催（825号）

- ・性の多様性を踏まえた女子大学の今後に向けて

ートランスジェンダー学生（女性）と共にある大学としての成長を目指してー（826号）

（2）第三種郵便物認可に関連する業務

- ①発行後所管郵便局に見本紙発送
- ②休刊届提出
- ③第三種郵便物定期調査書類提出

3. 広報部

（1）掲示板の管理・運営

（2）各種パンフレット作成

「桜楓会活動のご紹介」「新入生向けパンフレット」「4年生向けパンフレット」他、パンフレット等作成

（3）ホームページのリニューアル、管理・運営

- ①ホームページ機能追加
- ②ホームページ更新等維持・管理 情報更新 395 件（本部 230 支部・卒業生 165）

（4）SNS の管理・運営

X（旧 Twitter）・公式 LINE の管理・運営

【収益事業部門】

1. 施設サービス部

（1）桜楓 1 号館・2 号館の貸室業務

①年間会合件数 717 件

1 号館 239 件（会員 177、桜楓会 1、桜楓学園 61）

2 号館 478 件（会員 110、桜楓会 261、桜楓学園 106、その他 1）

②貸室の利用拡大のための広報活動（桜楓新報 7・8 月合併号掲載）

（2）桜楓食堂運営に関する業務

大学教職員・桜楓会職員・桜楓会会員等への昼食提供

ティータイムの飲み物・ケーキの提供、各種会合における和食弁当の提供

食堂什器の交換

（3）桜楓ハウスの管理と運営

（教職員、大学院生、留学生、3・4 年次学生のための賃貸住宅管理運営）

入居数 3 戸（2025 年 3 月 31 日 現在）

(4) 講座の企画・実施

講 師 竹内寿恵子氏（新 24 国）

演 題 母と子の関係から読み解く源氏物語 ～紫式部からの消息～

日 時 第 1 回 2025 年 2 月 5 日(水) 9：30～11：10 参加者 18 名

『明石の姫君の実母、明石君とその母明石の尼君』

第 2 回 2025 年 2 月 19 日(水) 9：30～11：10 参加者 19 名

『紫上とその養女明石の姫君』

会 場 桜楓 2 号館 303・304 号室

2. 実業部

(1) 文具販売（附属校・園の指定品、キャンパスグッズ等）

(2) 雑貨販売（附属校・園の指定品、キャンパスグッズ等）

(3) 食品販売（大学マーク入りお菓子等）

(4) 受託品販売

(5) 大学との連携による名入り商品及び桜楓会オリジナル商品等の企画・販売)

(6) コピー機の管理

(7) 自動販売機の管理（7 月まで）

(8) 効率的な実業部運営の検討・実施

①POS レジシステムの運用（目白）

② 商品データ登録による在庫管理の効率化（目白）

③附属小中高の指定品・推奨品販売の効率化（オンラインサイトでの販売、発送業者より送付）

(9) 実業部の在り方の検討

(10) 各種行事での販売

①大学入学式 4 月 2 日（火）

②ホームカミングデー 4 月 20 日（土）

③桜楓会総会 6 月 15 日（土）

④附属中学校オープンスクール 7 月 27 日（土）、8 月 25 日（日）

⑤大学オープンキャンパス 8 月 3 日（土）

⑥中学十月祭 10 月 5 日（土）、6 日（日）

⑦ 目白祭 10 月 19(土)

⑧中学入試問題説明会 11 月 16 日（土）、12 月 7 日（土）

⑨大学卒業式 2025 年 3 月 20 日（木祝）